

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	おかやま社会医療法人 岡山済生会総合病院
所在地		岡山市北区国体町2-25
管理者氏名		病院長 仁熊 健文
承認年月日		平成24年5月25日
業務報告書提出日		令和7年8月14日

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年 3 月31日
------	----------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率50%超、逆紹介率70%超	
紹介率	$\textcircled{1} / (\textcircled{2} - (\textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})) \times 100$	59.0 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	1,926 人
	②初診患者数	9,689 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	2,936 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	3,494 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\textcircled{7} / ((\textcircled{2} - (\textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})) \times 100)$	242.5 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	7,906 人

2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	1,564件
共同利用病床数	8床
共同利用病床利用率	28.8%
共同利用施設・設備	開放病床、大型医療機器（CT、MRI、RI）、図書館、会議室・カンファレンス室、電子カルテ（なでしこネット、疾病統計等）
登録医療機関数	151機関

3 救急医療の提供の実績【（１）又は（２）のどちらかを選択すること】

（１）救急患者数

救急搬送による救急患者数	4,719人（2,175人）
救急搬送以外の救急患者数	10,715人（2,315人）
合計（うち初診患者数）	15,434人（4,490人）

※括弧内は、入院を要した患者数

（２）救急医療圏（２次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数 （初診患者のみ）	人
B：救急医療圏（２次医療圏）人口※	人
C：A/B×1000＞2	（小数点第1位まで記入）

※２次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当２次医療圏における市区町村人口の総和）を用いること。

（３）救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	専門的治療戦略から在宅推進活動に関する研修を開催（病診連携研修会（5回開催））	
地域の医療従事者への実施回数		5回
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数		99人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	91人
研修施設	さいゆうホールA、B、C、管理棟4階第1会議室、第2会議室、第3会議室、第4会議室	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	病院長	
管理担当者	総務課長	
診療に関する諸記録の保管場所		総務課、情報システム管理課及び医学資料室
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	総務課
	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療連携室
	閲覧実績	地域医療連携室
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長		
閲覧担当者	地域医療連携室長		
閲覧に応じる場所	患者サポートセンター内 地域医療連携室		
前年度の総閲覧件数			0 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		0 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4 回		
委員会の概要	①令和6年6月27日 ・紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告 ・脳神経外科の診療体制について ②令和6年9月9日 ・紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告 ・北消防署救急車の体制について ③令和6年12月26日 ・紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告 ・医療機関への訪問活動について ④令和7年3月27日 紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告 ・済生丸クラウドファンディングについて		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室、患者サポートセンター		
主たる相談対応者	9名（看護師、薬剤師、事務、社会福祉士、臨床検査技師、放射線技師、臨床工学技士、管理栄養士、理学療法士）		
相談件数	19,123件		

相談の概要	①経済的な問題に関する社会資源の情報提供：高額療養費制度の説明、指定難病の説明、障害者手帳、自立支援医療の説明や傷害年金申請支援、生活保護申請支援、無低事業の説明、申請 ②介護・療養上の問題、退院調整（退院、転院）：介護保険の説明、申請代行、在宅生活の支援（ケアマネの確保、訪問看護ステーション、かかりつけ医等との連携、カンファレンス開催）、転院、施設の提供・調整 ③後見、遺言等に関する相談：金銭管理等後見制度の説明・申請の支援、公正証書等に関する情報提供 ④患者、家族が抱える問題に対する相談：心理・情緒的な相談 等 ⑤診療に関する相談：診療科受診、セカンドオピニオン、がん相談、治療・検査に関すること ⑥退院支援・退院調整に関する相談全般 ⑦苦情に関する相談：治療・職員の接遇 等
-------	---

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組（任意）

（１）病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 一般病院2（2015年9月18日認定）

注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

（２）果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	①地域・患者向け広報誌『やわらぎ』：2か月に1回発刊、1回3,700部。病気の知識、最新治療法、医療福祉制度等をわかりやすく解説、市民向け健康セミナーの案内や開催報告、連携医療機関の情報なども掲載。入院患者に配付、外来待合に配置し持ち帰り自由。地域町内会や連携医療機関（約300機関）に配布回覧 ②医療機関向け広報誌『CORE情報』：毎月発刊。地域医療連携室にて作成し県内中心に約500の医療・福祉施設や医師会へ送信。新任医師の紹介、新しい医療機器の紹介、専門医療の紹介等当院の医療機能情報を発信。 ③ホームページの更新 ④SNSサービスを活用して健康教室の案内やホームページの記事紹介 ⑤産科においては、妊産婦を対象にSNSを活用した情報発信を行っている。

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無		有
退院調整部門の有無概要	①医師、退院調整看護師、管理栄養士、理学療法士、MSW、病床管理事務等で構成された退院調整チームを2011年に構成。 ②入院時に24時間以内に入院患者全員をスクリーニングを行い、退院困難な患者を抽出し、7日以内に患者家族と面談、他職種が集まったカンファレンスを開催 ③患者・家族の意向に沿った退院支援計画の作成 ④退院後も支援が必要な患者には、介護保険の説明、代行申請、ケアマネージャー・訪問看護ステーション、往診医等の確保を行い情報の共有をして安心して自宅に帰れるよう支援	

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定		有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	①策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・糖尿病（双方向）、大腿骨頸部・転子部骨折（一方向、県南東部地域共通）、脳卒中（一方向、県南東部地域共通）、5がん（双方向、県内統一、作成部会担当・・・肝、胃、大腸）、骨粗鬆症（双方向、婦人科中心） ②地域連携クリティカルパスを普及させるための取組 ・入院患者リスト、手術患者リストから対象患者を抽出し、担当医に対象患者であることを伝達。協力医療機関との調整は地域医療連携室が対応。地域訪問のなかで。協力医療機関としての登録を相談し、拡大に努めている。	

病院名

岡山済生会総合病院